

同経会報

- 秋号 -



卒業生のつどい2019

同経会執行理事 卒業生のつどい委員

長田 宏（昭和52年卒）

同志社大学経済学部「卒業生のつどい」が2019年7月6日（土）、京都ホテルオークラで、先生、会員約90名の参加を得て、午後4時から総会・講演会・懇親会が盛大に開催されました。総会司会を同経会執行理事中谷豊美さん（昭和54年卒）が務められ、同経会総会よりスタートしました。

会則に則り服部盛隆同経会会長（昭和41年卒）が議長となり、議事が進められました。本年度は会計年度が変更されたため、変則的な提案内容となりました。尚、2019年度からは、3月末までの会計年度となります。

まず、第1号議案「2018年度と2019年1月から3月の事業報告並びに決算報告」第2号議案「2019年度事業計画並びに予算案」が一括上程され「2018年度と2019年1月から3月の事業報告」「2019年度事業計画」については小平真滋専務理事（昭和55年卒）より、学部同窓会連絡会の開催、委員長会議の開催、同経会賞の授

与、海外インターンシップでの学生派遣、同経会報の発行、新しい会費システム、卒業生のつどい、同経会東京・大阪・名古屋のつどい、しめた会の開催の詳細が説明されました。今年度から、かねてからの念願であった名古屋プロジェクトが立ち上げられ、同経会名古屋のつどいが45名の参加者のもと開催されたことが報告されました。また、大阪プロジェクトでは、新たにビジネス交流会が実施されたこと、そして今後実施されることが報告されました。

続いて、これに伴う2018年度と2019年1月から3月までの決算報告、2019年度予算案が鍵圭一朗会計責任者（平成1年卒）より説明され、小杉將之幹事（平成1年卒）より会計監査報告がありました。第1、2号議案について諮られた結果、議案通り承認されました。続いて、第3号議案「その他」として、服部会長より「総会の承認を求め、役員候補者」「理事の中から会長が指名する役職者」が提案されました。第3



号議案について諮られた結果、議案通り承認されました。(新役員については後掲)

講演会の後、懇親会となるのですが、講師のご都合により、まず同志社グリーククラブの男声合唱がオープニングを飾りました。昨年に引き続きの演奏でしたが、その美声と迫力に魅了させられました。続いて、記念講演会に移りました。国際日本文化研究センター教授井上章一氏が「京都と大阪に溝ができるまで」と題して講演されました。井上先生は、京都市の生まれで、京都大学工学部建築学科のご卒業ですが、研究対象は、建築以外に風俗、近代日本文化史など幅広く、多方面にわたってご活躍です。

今回の講演会は、井上先生の近著である「京都ざらい」「大阪的」をベースに、京都と大阪

の風俗の作り出されてきた背景と変遷について、辛辣な内容にもかかわらずソフトでユーモアにあふれた語り口で講演され、会場には笑い声が絶えませんでした。

京都大学の入学式で、歴代の総長は、京都の誘惑に惑わされることなく学業に専念するように訓示するのがもっぱらだったようですが、今では女性が一人で旅行できる街になってきました。一方で大阪は、誘惑の大きい町に変貌してきたそうです。それは、都市に集まる人間が求めたからだそうです。大阪万博が開催されたころ、女性が大学に進学するようになりましたが、進学先が、まだ文学部などに限定されていた、そこで源氏物語などを勉強した女性が京都にやってきた一方、経済の発展してきた大阪は、ビジネスマンが集まり、その男性たちの欲求を満たす街に変貌してきたからだそうです。また、大阪のおばちゃんイメージは、マスコミによって作られてきたこと、今の阪神タイガースの人気も同様に、テレビによるものだと教えていただきました。イメージの形成にはマスコミの影響力が如何に大きいのか、如何に経済的論理に因っているかを改めて考えさせられるものでした。

服部盛隆会長の開会あいさつがあり、八田英二同志社総長・理事長のご祝辞、井上同志社公友会会長からの祝電の披露の後、谷村智輝経済

学部長のご祝辞および乾杯のご発声で懇親会がスタートしました。

懇親会では、年代別にテーブルを囲んでいますが、宴たけなわになるに連れて、年代を超えて和やかに懇談されていました。また、多くの方が講演者の井上先生を囲んで、今日の話題について話が弾んでいました。

最後に中嶋利宗同経会副会長（昭和40年卒）が、閉会の辞を述べられた後、山本力也アドバイザー（昭和33年卒）のリードで同志社カレッジ・チング・チアーを全員で声高らかに合唱、合唱して「卒業生のつどい」は幕を閉じました。



会場では年代を超えて、同窓生としての旧交を温めました

同志社大阪 ビジネス交流会

ウエスティンホテル大阪 2019.2.23



文・大阪プロジェクト
土橋純二郎 (S58年卒)

「同志社大阪ビジネス交流会」が2019年2月23日午後3時より、گانこフードサービス株式会社で82名が出席して開催されました。これは、同経会大阪プロジェクトが主催し、共催として10の大阪のOB会の協力により、新たな人脈作りを促すことを目的に、本年度から初めて行われた企画です。

服部盛隆同経会会長が、主催者を代表して挨拶を述べたあと、経営コンサルタント菅生新（さうあらた）氏が、「ベンチャー企業家に学ぶ人生経営」と題して記念講演会が行われました。菅生氏は法学部の卒業生であり、俳優・菅田将暉さんを育て、ベストセラー「スゴ一家の人々」の著者としても知られています。ご自身の経験や多くの起業家とのエピソードなど、興味深い話題をいろいろお話くださり、人との出会いを大切にされる姿勢は出席者の共感を呼びました。

講演後休憩中には菅生氏のサイン会・書籍販売会が行なわれ、長蛇の行列ができ、用意した本は瞬く間に完売しました。

休憩後には、名刺交換会が行われました。15分間の予定だった名刺交換タイムは、倍の30分間にわたり、大変な盛り上がりを見せました。

小嶋淳司同経会名誉会長の乾杯の発声により懇親会がスタートし、名刺交換会の際の盛り

上がりそのまま賑やかな懇談となりました。懇親会中は、希望者による1分間スピーチが行なわれ、14名が次々に登壇しビジネスの紹介等を出席者にすることができました。また、士の会の相談ブースでは、名刺交換をきっかけに個別相談をするなど、新たな交流が生まれました。

早瀬孝之同経会執行理事が御礼の言葉を述べたあと、閉会に際しては土橋純二郎同経会大阪プロジェクト委員長が、オール大阪、オール同志社の最初の第一歩としてこの会が盛大に開催された御礼と、今後さらに一層盛り上がるように祈念する主旨の挨拶を述べました。

最後、岩田雄仁同志社校友会大阪支部執行常任理事のリードによるカレッジソングを全員が合唱し、初めての試みとして行われたビジネス交流会は盛況のうちに終わることができました。



服部盛隆 同経会会長



菅生新氏 講演要旨

まだベンチャーという言葉があるかないかの25年以上前からテレビ番組のメインキャスターをやっている、上場前のくら寿司の社長や、リープ21の岡村さん、ラウンドワンの社長など、当時若手のベンチャー起業家にどんどん出ていただきました。

私には3人の息子がいますが「お父さんの本業って何？」って言われます。そこで僕は「テレビやラジオに出たりするのは副業や。お父さんの本業は、お前らを父親として育てる親業や」と言いました。子育てと従業員育て、会社育ては一緒なのです。

やるという思いを持っているかどうかです。

大阪の人や街は、人情味とかやさしさとか、すごく良いものを持っています。商売の感性が鍛えられているので、大阪から東京に出て行ったベンチャー企業のほとんどが成功しています。

できるベンチャー企業は、苦勞を苦勞と思わず、成功してもそれを当然と思わず、まだまだできるという気概があります。人との出会いを10倍にも100倍にもするのは、その人ともういっぺん仕事がしたい、と思わせるような、その人の人となりや立ち居振る舞いだと思いません。信頼が、仕事に結びつくのです。

マスコミもどんどん利用してもらったらいいかと思います。マスコミを利用して、天王寺の田舎のパン屋『乃が美』のパンを大ブレイクさせたことがあります。860円の値段をつけたのですが、これがバカ売れして、今や130億円の売上をあげ、支店を出すようになり、麻布十番店では姉妹が並んで買ってくれました。

良い仕事をする秘訣は、感謝です。感謝すれば、今日出会った人がすごいお客を連れてきてくれるとか、すごい出会いになるとか、すごい良いことが起きる。今日からでもやれます。家族に感謝、足に感謝、靴を作ってくれた人に感謝、歩けることに感謝、です！

同志社大学在学中の4年間は、太秦の映画村で俳優業に明け暮れていました。たまたま鬘が似合って、待役ばかりやっていましたね。大学卒業後に入社した藤沢薬品では、同僚がある病院で名刺を見せたら「お前のところは新薬のときに問題を起しているから出入り禁止だ」と言われ、名刺を捨てられてしまいました。私が会うと、その先生はなんと僕が高3のときに、母の手術を執刀した先生だったのです。当時、僕が一晚中泣きながら「母を助けてください、まだ全然恩返しできてないのに」と話していたことを先生も覚えておられ、医局の他の先生を呼んで「これから彼がよく来るからよろしくな」と紹介してくださり、その病院からの売上げのシェアは僕だけのものになりました。

10年前には、エイチ・アイ・エスの澤田社長と一緒に仕事をしました。長崎のハウステンボスの企画で、「光、光、イルミネーションをやりましょう」と提案し「光の王国」で大成功しました。

澤田さんとは、ベンチャー企業の会「アジア経営者連合会」も作り、ニトリの似鳥さんほか、1部上場企業の経営者で理事を固めて、今は上場しているメンバーだけで時価総額5千億円ぐらい、全700社ぐらいに成長しています。

第42回同経会賞受賞者が決定しました！

同志社大学経済学部の平成最後となる卒業式が、2019年3月21日、栄光館にて多数の父母の参加を得て盛大に執り行われました。式終了後、午後1時から良心館において「第42回同経会賞」の授与式を行いました。

同経会賞は、経済学部専門科目の総合成績が極めて優秀だった卒業生上位5名を表彰する制度です。

谷村智輝経済学部長、受賞者のゼミ指導教官、ご両親等の臨席を得て、高木壽一同経会副会長から5名の受賞者に対し賞状と時計が授与されました。

1978年に第1回がスタートし、今年で42回を迎える歴史ある賞になっております。この間、経済学部の卒業生は約5万7千名を超え、同経会受賞者は総計211名になりました。

今回の受賞者は、写真右より曾我尚希さん（西岡ゼミ）、大谷優理子さん（小藤ゼミ）、西窪優香さん（新関ゼミ）、中西良太さん（新関ゼミ）、宮浦万穂子さん（谷村ゼミ）です。

受賞おめでとうございます。皆様の今後のご活躍を期待しております。

（文・同経会広報委員長 中谷豊美）



総勢82名の参加者一同が、そろって記念撮影

祝！初開催 同経会 卒業生のつどい — 名古屋 —



令和元年6月15日(土)

文・名古屋プロジェクト
理事 萱原昇 (S49年卒)

大学在学中から日本代表に選出された林敏之氏



昨年の6月2日、同経会・京都の集いに初めて参加しました。懇親会で現・総務委員長の河合さんと会い、60年近い同経会の歴史で、京都、大阪、東京での開催はされているものの名古屋では未開催、是非、近々開催しようと言いました。

終了後、京都駅に向かう為、暗い道を地下鉄の駅まで歩く。お名前を聞くのを失念しましたが、某先輩と一緒にになりました。その先輩曰く、「昔は、同志社は経済で持つと言われていたが、今は法学部などが・・・」確かに私の現役時代はそのように言われ、プライドのようなものもありました。誰かに聞いた「大学の評価は卒業生がつくるもの。」なら、「経済学部の評価は経済学部OBが作るもの。やはり、OBが会する

場を私が生活の拠点とする名古屋で作らなければ！」自分が言い出しっぺになろうと決断しました。

早速、準備に入りました。8月末に本部から送付された愛知・岐阜・三重の東海3県に在住する一定の条件且つ現在整備中につき少し古い前提で戴いた同経会員の名簿リストは140名程度。昨年の京都、大阪、東京の集いの人数から考え、名古屋の集いの集客目標は他地域からの参加者を含め50名に置きました。懇親会はネットワーキングタイム(相互の名刺交換の場をこのように呼ぶ)でもあります。少しでも多くの方々との名刺交換の場を提供する必要があります。

名簿から、世代を超えた準備委員の人選と書状での委員受諾の依頼を行い、50歳代2名、40歳代2名、30歳代1名に60歳代後半の私。皆さん気前良く引き受けてくれました。第一回の準備委員会合で、「人的ネットワークを多岐に必要とする現役世代に多く出してもらい、老・壮・青が一同に会する場」これをコンセプトとすべく決めました。その為に、ラグビーワールドカップ開催の今年、豊田市も会場となっている事、世代を超えて話を聞きたいと言う希望を纏め、同じ経済学部卒でもある「日本ラグビー界のレジェンド」林敏之氏にお願いする事に致しました。

以上、長々と開催の経緯にスペースを割きましたのは、このような集いが各地で開催される事を願うからです。

最後に、ご支援戴いた本部の役員の方々、事務局の松島さん、名古屋で支えて戴いた先輩諸氏、学友諸兄に心からお礼申し上げます。



参加者一同そろって記念撮影

想定された一番の課題である参加者募集には苦慮しました。既述の同経会名簿に加え、複数のゼミ関係の名簿等から100名近く、計250名にDM発送したものの60%近くが宛先不明で返る。欠席の返答も順調？に来る。この地域は経済学部卒は少ないのでは、経済学部への帰属意識が強くないのでは、など周囲から聞いた話が脳裏を過ぎります。しかし、参加者募集には、最終的に様々な協力者にお手伝い戴きました。地域の主要企業何社かには同志社OB会があり、そのルートでの案内サポート、校友会・愛知県支部の現・元役員さん達の協力、不動産関係のクローバー会愛知県支部、商学部樹徳会の愛知県支部などの皆さんです。

以上のような経緯を経て、第一回同経会・名古屋の集いの開催が実現しました。

日時：令和元年6月15日 午後4時受付開始
場所：名鉄グランドホテル 柏の間
記念講演：林敏之氏「楽苦美

〜湧き上がるものを求めて〜

参加者：講師、本部からの参加4名を含めて総勢44名(2名急遽欠席も、各世代均等に参加)

また、記念講演の後、同経会の学友でもある公益財団法人・ラグビーワールドカップ

2019組織委員会の眞田英士さんからチケット購入の要請も兼ね、この大イベントの紹介をして戴きました。

林さんには、ご自身のラグビー人生を通じての感動人生について熱く語って戴きました。ご本人が翌日、名古屋での講演についてFacebookにアップされた内容の一部をご紹介します。「グラウンドでボールに浸りきった時に湧き上がる感動が生まれました。作れない、飾れない、真実と言える瞬間を体験させてもらいました。湧き上がった時、そこに紛れも無い自分がいて、鮮やかな生があり、自由自在(自らに由って自らが在る)になれました。」

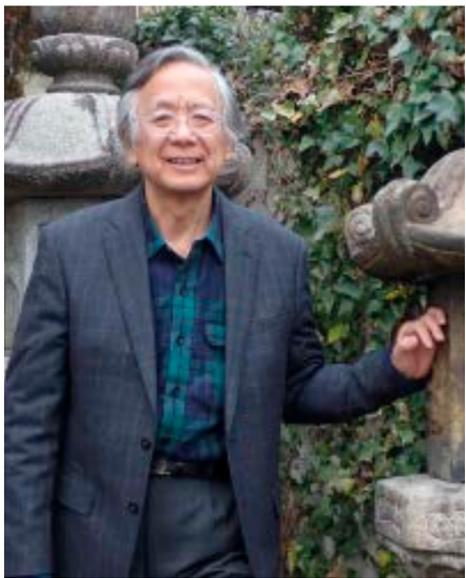
今の時代、米国流のビジネスのやり方、即ち、ゴールを決めて、その為に決めたプロセスを、予め決めたスケジュールに従い、論理的に進めて行く。これが主流になっていますが、日本人には、「諸行無常」周囲の環境、条件は常に変わります。所謂、「ものあはれ」の世界も確かにあります。論理的思考だけでない情緒的感性の必要性でしょうか？林さんの講演内容が多くの人に感動を与える、チカラを与える所以だと思います。

講演後、懇親会に移り、最後は2012年卒体育会ボート部出身の関本駿さんのリードで同志社カレッジソングを斉唱、来年の再会を約束してお開きとなりました。



退任の先生からのご挨拶

経済学部21年



醍醐元正

す。もしはじめの職場にとどまっていたならば、株でも買ってみようかなと言う事は全く考えもしなかっただろうと思います。

私をはじめに担当したのは主に「情報言語」という情報関連科目でした。ちょうどインターネットブームが起こつてから数年経った頃だったので履修者数も多かったと思います。ゼミも初めの頃は25人程が在籍していました。しかし、ゼミの内容が経済学部と余り合っていないかったのかもしれない。私が国内研究をして、一年間ゼミから遠ざかってからあとはずっとゼミ生が数名の状態が続いてしまっています。

この様に、私の専門が経済学でなく出身も同志社大学でない事から、同経会の事は名前を知っているだけで、殆ど縁がありませんでした。ただ、一度だけ「科学と技術」という公開講座の担当を務めさせて頂いた事がありました。この公開講座は経済学部・経済学会・同経会が協力して開講したもので、一般市民に公開されるとともに学生にも正課の講義として提供されるものでした。そして日本の一流企業から、そこで活躍されている主に技術者の方を講師としてお呼びするという企画でした。私は司会と

講師の接待役を仰せつかりました。この時、企業の第一線で活躍されている技術者の方々と直接お話し出来たことは私の貴重な経験になりました。

個人的にはこの20年、病気や怪我など色々なことがあつて仕事が続けられるか心配になる事もありました。しかし、こうして何とか無事定年退職できたことを心から感謝しております。

The Rainbow

William Wordsworth

My heart leaps up when I behold

A rainbow in the sky:

So was it when my life began,

So is it now I am a man

So be it when I shall grow old

Or let me die!

The Child is father of the Man:

And I could wish my days to be

Bound each to each by natural piety.

犬を2匹飼っています。小型のヨークシャーテリアで、なにかと手がかかり、旅行すらかななかなけません。なので、必然的に休日は散歩がメインとなります。近所の同じところばかり回っていたら、面白くもなんともないので、土日祝は犬達を車に乗せ、京都市内の寺社仏閣などを巡るといのが、最近の私の趣味となっています。

先日、永観堂付近をそぞろ歩きしようと思い立ち、近くの100円パーキングに車を止めました。駐車後、車から勢いよく飛び出した、わがワンコたちがまっさきに行くこと。それは○○○ですね。移動中はいまかいまかと我慢しており、少しでも早く、やらかしたいわけです。それで、近くの石柱に、気持ちよくそれをはじめたわけですが、その石柱に掘られた文字を読んだただただ愕然とするしかありませんでした。

「新島襄先生墓地登山口」。偶然の事故とはいえ、先生。大変申し訳ございませんでした。伏してお詫言申し上げます。

(編集委員長)

訃報

同志社大学名誉教授、柏博先生(86歳)が、5月3日、永眠されました。なお、告別式はご家族のみで執り行われました。また、供花料等は固くご辞退させていただきます。ご冥福をお祈りいたします。

訃報

同志社大学名誉教授、室田武先生(75歳)が、5月8日、永眠されました。なお、通夜・告別式はすでに執り行われました。また、供花料等は固くご辞退させていただきます。ご冥福をお祈りいたします。

訃報

同志社大学名誉教授、今村宏先生(86歳)が、3月4日、永眠されました。なお、告別式はご家族のみですすでに執り行われました。また、供花料等は固くご辞退させていただきます。ご冥福をお祈りいたします。

「卒業生のつどい-東京-」開催 ぜひお越しください!

11/27 (水) 18:30~



講師：同志社大学大学院ビジネス研究科 教授 浜矩子氏

「急流か逆流か濁流か グローバル経済の危うい明日」

日時：2019年11月27日(水) 18:30~21:00

(18:00受付開始)

場所：日本プレスセンター10階 「公益社団法人 日本記者クラブ」

東京都千代田区内幸町2-2-1 Tel 03-3503-2721



4. 企画・支援委員会関係

海外インターンシップ派遣

① 海外インターンシップ生との面談

6月19日(火)に良心館4階の452教室で開催。小林教授、横井教授、インターンシップ生、同経会から小平専務理事と企画・支援委員、広報委員らが参加。選考経過報告、激励など。

② 海外インターンシップに学生派遣

8月13日～8月24日	日本コルマー(中国)	1人
8月20日～8月31日	石田大成社(アメリカ)	1人
8月20日～8月31日	鶴見製作所(台湾)	1人
8月20日～8月31日	ノーザンライツ(インドネシア)	1人
8月27日～9月7日	ダイキン工業(タイ)	1人
8月27日～9月7日	みずほ銀行(ドイツ)	1人
8月27日～9月7日	クレアブ(スウェーデン)	1人
8月27日～9月7日	シークス(中国)	1人
8月27日～9月7日	マイツ(中国)	1人

③ 海外インターンシップ成果報告会

10月30日(火)17時30分から良心館2階のクエストルームで開催。谷村経済学部長、先生方、受け入れ企業の担当者、同経会から高木副会長、小平専務理事、企画・支援委員らが参加。研修生の報告発表と質疑応答の後、良心館3階の第1共同研究室で意見交換会を開催。

5. 広報・編集委員会関係

① 「同経会報」81号 発行 4月1日 4,500部

「同経会報」82号 発行 9月15日 3,000部

② 同経会ホームページを随時更新

③ 企業宛に同経会ホームページへの広告協賛の依頼

6. しめた会関係

「第5回しめた会」 2018年9月15日(土)16時～20時30分

寒梅館で講演会と懇親会を開催。50名が参加。講演は株式会社堀木エリ子アンドアソシエイツ代表取締役の堀木エリ子氏による「伝統工芸と革新技術 ～進化する和紙～」。

7. 財務委員会関係

2018年は償還なし

8. 東京プロジェクト関係

「同経会東京のつどい2018」 2018年11月27日(火)18時30分～21時

東京・日本プレスセンター(東京都千代田区)で、講演会、懇親会を開催。50人余が参加。講演は、同志社大学経済学部教授の新関三希代による「行動経済学の視点からみる株式市場」。

9. 大阪プロジェクト関係

「同経会大阪のつどい2018」 2018年2月21日(水)18時30分～21時

ウエスティンホテル大阪(大阪市北区)で、講演会、懇親会を開催。100人余が参加。講演は、マルハニチロ株式会社代表取締役社長の伊藤滋氏による「日本の食卓から魚が消える日」。

10. 新プロジェクト関係

① 新しい名簿管理システムへの移行

② 同経会WEB名簿登録実施に向けての試験

③ 同経会の個人情報取扱い規程の見直しを検討

1. 会議関係

① 経済学部との懇談会

7月10日(火)12時から良心館3階第1共同研究室で開催。

経済学部から谷村智輝学部長、執行部の先生方、沼井哲男事務長ら9人、同経会は服部会長ら9人が出席し、事業、連携などについて協議した。

② 委員長会議

・3月9日(金)16時15分から寒梅館6階B会議室で開催。

・5月14日(月)18時30分から寒梅館6階A会議室で開催。

・9月7日(金)18時から寒梅館6階A会議室で開催。

会長、副会長、専務理事、各委員会委員長、監事が出席。各委員会から活動報告、今後の事業計画や予算など話し合った。

③ 学部同窓会連絡会

・3月7日(水)14時から寒梅館6階大会議室で開催。

・6月12日(火)14時から寒梅館6階A会議室で開催。

・9月3日(火)14時から寒梅館6階A会議室で開催。

・12月6日(水)16時から寒梅館6階A会議室で開催。

5学部卒業生団体から会長、副会長、理事長、副理事長、専務理事らが出席。各団体から活動報告や取り組みなどの情報を提供、問題点など意見を交換し、横の繋がりを深めた。

2. 理事会関係

2018年度理事会 3月9日(金)17時から寒梅館2階211教室で開催。40人出席。

議長は服部会長 議事の内容は以下の通り。

① 同経会賞受賞者の選考

② 2017年度事業報告、2018年度事業計画、2017年度決算、2018年度予算案

③ 同経会総会の開催案内

④ 顧問改選

⑤ 役員改選

⑥ 会則の変更

3. 総務委員会関係

① 同経会賞授与 5人 3月21日(水)卒業式当日

② 2018年卒業生全員に記念品贈呈(同経会オリジナルクリアファイル)

③ 会費納入依頼

終身会費納入者 6人(内卒業後3年以内 4人)

終身web会費納入者 17人(内2018年卒業生 1人)

年額会費納入者 15人

合計 38人

④ 同経会総会・卒業生のつどい関係

「卒業生のつどい2018」 6月2日(土)16時～20時

京都ブライトンホテル(京都市上京区)で同経会総会、講演会、懇親会を開催。100人が参加。講演は、佛敎大学歴史学部教授の八木透氏による「祇園祭と京の盆行事」。

⑤ 名古屋プロジェクトの開拓

名古屋のつどい開催へ向けて愛知・岐阜・三重などの会員、未入会OBへの働きかけ



2018年度 終身会費決算書

自 2018年 1月 1日
至 2018年12月31日

(単位:円)

	項目	決算
収入の部	前年度繰越金	73,582,162
	終身会費	220,000
	終身Web会費	85,000
	終身会費運用益 ※①	213,284
	預金利息 ※②	172
	合計	74,100,618
	支出の部	経常費へ ※①
経常費へ ※②		172
支出合計		213,456
次年度繰越金		73,887,162
合計		74,100,618

2018年度 国際交流支援基金決算書

自 2018年 1月 1日
至 2018年12月31日

(単位:円)

	項目	決算
収入の部	前年度繰越金	3,614,767
	合計	3,614,767
支出の部	海外インターンシップ事業	1,139,702
	支出合計	1,139,702
	次年度繰越金	2,475,065
	合計	3,614,767

2018年度 決算書

自 2018年 1月 1日
至 2018年12月31日

(単位:円)

	項目	予算	決算
収入の部	前年度繰越金	5,829,174	5,829,174
	年額会費	0	75,000
	入会金	10,000,000	10,152,000
	ホームページ広告掲載料	400,000	330,000
	預金利息	1,000	172
	終身会費運用益	200,000	213,284
	合計	16,430,174	16,599,630
	支出の部	企画・支援委員会関係費	50,000
広報・編集委員会関係費		2,200,000	2,095,714
ホームページ関係費		200,000	194,400
総務委員会関係費		1,200,000	835,497
地区プロジェクト補助費		700,000	729,388
しめた会関係費		300,000	144,238
学術助成金		400,000	0
会議費		400,000	329,762
人件費		3,500,000	3,474,685
旅費・交通費		300,000	280,930
通信費		600,000	592,745
印刷費		300,000	282,554
交際費		50,000	30,000
事務費		100,000	70,944
雑費		50,000	31,123
福利厚生費		600,000	570,823
新プロジェクト関係費		1,300,000	1,395,750
支出合計		12,250,000	11,070,526
次年度繰越金		4,180,174	5,529,104
合計		16,430,174	16,599,630



2019年1月～3月事業計画

貸借対照表

自 2018年 1月 1日
至 2018年12月31日

(単位:円)

1. 会議関係

- ① 委員長会議
- ② 学部同窓会連絡会

2. 総務委員会関係

- ① 会員増強運動
- ② 卒業式当日に2019年卒業生全員に記念品と同経会報及び入会案内を配布
- ③ 同経会賞の授与 5人 2019年3月21日(木)卒業式当日
- ④ 総会・卒業生のつどい2018の講師手配
- ④ 名古屋のつどいに向けての準備
- ⑤ 校友会の大懇親会への参加協力、広告協賛

3. 企画・支援委員会関係

- ① 海外インターンシップ受け入れ企業への挨拶

4. 広報・編集委員会関係

- ① 同経会報83号発行準備
- ② 同経会ホームページの更新 随時
- ③ 企業宛に同経会ホームページへの広告協賛の依頼

5. しめた会関係

「第6回しめた会」の会場手配と講師の交渉

6. 財務委員会関係

償還なし

7. 東京プロジェクト関係

「同経会東京のつどい2019」の会場手配と講師の交渉

8. 大阪プロジェクト関係

- ① 「大阪ビジネス交流会」の開催
- ② 「同経会大阪のつどい2019」の会場手配と講師の交渉

9. 新プロジェクト関係

新会員名簿システムの調整

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金預金	26,722,788	終身会費積立金	73,887,162
有価証券	51,149,918	退職給与積立金	2,500,000
預け金	6,518,625	国際交流支援基金	2,475,065
		次期繰越金	5,529,104
合計	84,391,331	合計	84,391,331

《内 訳》

◆ 現金預金				
	みずほ銀行	出町支店	(経常勘定口) 普通預金	4,114,108
	〃	〃	(終身勘定口) 普通預金	11,542,354
	〃	〃	(終身勘定口) 定期預金	1,000,000
	ゆうちょ銀行	京都室町上立売郵便局	振替口座 (会費入金)	5,301,382
	ゆうちょ銀行	京都室町上立売郵便局	振替口座 (その他入金)	4,764,944
			合計	26,722,788
◆ 有価証券				
	SMBC日興証券	広島市公募公債 (26年第3回)	(終身勘定口)	10,000,000
		北海道公募公債 (27年第7回)	(終身勘定口)	10,000,000
		利付国債(10年) 第336回	(終身勘定口)	10,149,918
			合計	30,149,918
	野村証券	広島県公募公債 (27年第3回)	(終身勘定口)	21,000,000
			合計	21,000,000
			有価証券合計	51,149,918
◆ 預け金	入会金(大学経理課)			6,518,625



2019年4月～2020年3月事業計画

2019年1月～3月事業報告

1. 会議関係

- ① 経済学部との懇談会
- ② 委員長会議
- ③ 学部同窓会連絡会

2. 理事会関係

2019年度理事会 5月27日(月)17時から寒梅館2階211教室で開催。

3. 総務委員会関係

- ① 会員増強運動
- ② 卒業式当日に2020年卒業生全員に記念品と同経会報及び入会案内を配布
- ③ 同経会賞の授与 5人 2020年3月21日(土)卒業式当日
- ④ 卒業生のつどい関係
「同志社大学経済学部卒業生のつどい2019」開催
2019年7月6日(土)16:15～20:00 京都ホテルオークラで同経会
総会、講演会、懇親会を開催。講演は国際日本文化研究センター教授
の井上章一氏による「京都と大阪に溝ができるまで」

4. 企画・支援委員会関係

- ① 海外インターンシップ事業
- ② 「国際交流支援基金」による事業

5. 広報・編集委員会関係

- ① 同経会報83号発行 4月1日 4,500部
- ② 同経会報84号発行 9月 3,000部
- ③ 同経会ホームページの更新 随時
- ④ 企業宛に同経会ホームページへの広告協賛の依頼

6. しめた会関係

「第6回しめた会」2020年2月15日(土)16時～19時30分 からすま京都ホテルで講演会と懇親会を開催。講演は株式会社プロントコーポレーション代表取締役社長の竹村典彦氏。

7. 財務委員会関係

2019年は償還なし

8. 東京プロジェクト関係

「同経会東京のつどい2019」2019年11月27日(水)18時30分～21時 日本プレスセンターで講演会と懇親会を開催。講演は同志社大学大学院ビジネス研究科教授の浜矩子氏。

1. 会議関係

- ① 委員長会議
・1月24日(木)18時から寒梅館6階A会議室で開催
会長、副会長、専務理事、各委員会委員長、監事が出席。各委員会から活動報告、今後の事業計画や予算など話し合った。
- ② 学部同窓会連絡会
・3月5日(火)14時から寒梅館6階A会議室で開催
5学部卒業生団体から会長、副会長、理事長、副理事長、専務理事らが出席。各団体から活動報告や取り組みなどの情報を提供、問題点など意見を交換し、横の繋がりを深めた。

2. 総務委員会関係

- ① 同経会賞の授与 5人 2019年3月21日(木)卒業式当日
- ② 2019年卒業生全員に記念品贈呈(同経会オリジナルクリアファイル)
- ④ 総会・卒業生のつどい2018の講師との打ち合わせ
- ④ 名古屋のつどいに向けての準備
- ⑤ 校友会の大懇親会への参加協力 3月16日(土)京都国際会館 23人参加
パンフレットに広告協賛

3. 企画・支援委員会関係

海外インターンシップ受け入れ企業への挨拶

4. 広報・編集委員会関係

- ① 同経会報83号発行準備
- ② 同経会ホームページの更新
- ③ 企業宛に同経会ホームページへの広告協賛の依頼

5. しめた会関係

「第6回しめた会」の会場手配と講師の交渉

6. 財務委員会関係

償還なし

7. 東京プロジェクト関係

「同経会東京のつどい2019」の会場手配と講師の交渉

8. 大阪プロジェクト関係

- ① 「大阪ビジネス交流会」の開催
2月23日(土)15時～18時 がんこ本社9階で講演会と名刺交換会、懇親会を開催。80人参加。講演は経営コンサルタントの菅生新氏による「ベンチャー起業家に学ぶ人生経営」。

② 「同経会大阪のつどい2019」の会場手配と講師の交渉

9. 新プロジェクト関係

新会員名簿システムの調整



2019年1月～3月 決算書

自 2019年1月 1日
至 2019年3月31日

(単位:円)

	項目	予算	決算
収入の部	前年度繰越金	5,529,104	5,529,104
	年額会費	0	0
	入会金	800,000	768,000
	ホームページ広告掲載料	200,000	260,000
	寄付金		30,000
	預金利息	0	47
	終身会費運用益	85,000	85,470
	合計	6,614,104	6,672,621
支出の部	企画・支援委員会関係費	0	0
	広報・編集委員会関係費	1,700,000	1,647,215
	ホームページ関係費	50,000	48,600
	総務委員会関係費	500,000	433,089
	地区プロジェクト補助費	0	71,673
	しめた会関係費	0	0
	学術助成金	0	400,000
	会議費	50,000	21,708
	人件費	700,000	668,916
	旅費・交通費	60,000	45,686
	通信費	10,000	2,409
	印刷費	20,000	16,121
	交際費	10,000	57,932
	事務費	25,000	30,397
	雑費	12,000	19,501
	福利厚生費	150,000	165,147
	新プロジェクト関係費	100,000	90,720
	支出合計	3,387,000	3,719,114
	次年度繰越金	3,227,104	2,953,507
	合計	6,614,104	6,672,621

9. 大阪プロジェクト関係

- ① 「同経会大阪のつどい 2019」 2019年11月6日(水) 18時30分～21時 ホテルモントレ大阪で講演会と懇親会を開催。講演は株式会社ダイフク代表取締役社長の下代博氏
- ② 2020年2月 大阪ビジネス交流会を開催。

10. 名古屋プロジェクト関係

「同経会名古屋のつどい」 2019年6月15日(土) 16時30分～19時30分 名鉄グランドホテルで講演会と懇親会を開催。講演は元ラグビー日本代表・NPO法人ヒーローズ理事長の林敏之氏による「楽苦美～湧きあがるものを求めて～」。

11. 新プロジェクト関係

- ① WEB名簿への登録依頼とWEB名簿の有効活用
同経会の全会員にWEB名簿登録のためのIDとパスワードを発行、会員が自らWEB上で登録をし、自身の情報を開示するか否かを選択。開示項目については他の会員が閲覧でき、会員間で交流、親睦を図ることができる。
- ② メールで情報を配信
WEB名簿にメールアドレスを登録した会員に向けてメールで各種案内を送る。郵送料の節約と情報配信による会員へのサービスの充実を図る。
- ③ 個人情報取扱い規程の管理
- ④ WEB名簿登録の推進



貸借対照表

自 2019年 1月 1日
至 2019年 3月31日

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金預金	24,500,078	終身会費積立金	73,897,162
有価証券	51,149,918	退職給与積立金	2,500,000
預け金	6,175,738	国際交流支援基金	2,475,065
		次期繰越金	2,953,507
合計	81,825,734	合計	81,825,734

《内 訳》

◆ 現金預金

みずほ銀行	出町支店	(経常勘定口)	普通預金	2,506,084
〃	〃	(終身勘定口)	普通預金	11,627,547
〃	〃	(終身勘定口)	定期預金	1,000,000
ゆうちょ銀行	京都室町上立売郵便局	振替口座	(会費入金)	5,341,150
ゆうちょ銀行	京都室町上立売郵便局	振替口座	(その他入金)	3,524,842
小口現金		事務局金庫		500,455
		合計		24,500,078

◆ 有価証券

SMBC日興証券	広島市公募公債	(終身勘定口)		10,000,000
	北海道公募公債	(終身勘定口)		10,000,000
	利付国債(10年) 第336回	(終身勘定口)		10,149,918
		合計		30,149,918

野村証券	広島県公募公債	(終身勘定口)		21,000,000
		合計		21,000,000

有価証券合計 51,149,918

◆ 預け金 入会金(大学経理課) 6,175,738

2019年1月～3月 終身会費決算書

自 2019年1月 1日
至 2019年3月31日

(単位:円)

	項目	決算
収入の部	前年度繰越金	73,887,162
	終身会費	0
	終身Web会費	10,000
	終身会費運用益 ※①	85,470
	預金利息 ※②	47
	合計	73,982,679
支出の部	経常費へ ※①	85,470
	経常費へ ※②	47
	支出合計	85,517
	次年度繰越金	73,897,162
	合計	73,982,679

2019年1月～3月 国際交流支援基金決算書

自 2019年1月 1日
至 2019年3月31日

(単位:円)

	項目	決算
収入の部	前年度繰越金	2,475,065
	合計	2,475,065
支出の部	海外インターンシップ事業	0
	支出合計	0
	次年度繰越金	2,475,065
	合計	2,475,065



2019年度予算案

(単位:円)

	項目	2018年予算案	2018年決算	2019年1～3月決算	2019年予算案
収入の部	前年度繰越金	5,829,174	5,829,174	5,529,104	2,953,507
	年額会費	0	75,000	0	0
	入会金	10,000,000	10,152,000	768,000	10,000,000
	ホームページ広告掲載料	400,000	330,000	260,000	300,000
	預金利息	1,000	172	47	1,000
	終身会費運用益	200,000	213,284	85,470	200,000
	合計	16,430,174	16,599,630	6,672,621	13,454,507
支出の部	企画・支援委員会関係費	50,000	11,973	0	50,000
	広報・編集委員会関係費	2,200,000	2,095,714	1,647,215	2,200,000
	ホームページ関係費	200,000	194,400	48,600	200,000
	総務委員会関係費	1,200,000	835,497	433,089	800,000
	地区プロジェクト補助費	700,000	729,388	71,673	1,100,000
	しめた会関係費	300,000	144,238	0	300,000
	学術助成金	400,000	0	400,000	400,000
	会議費	400,000	329,762	21,708	400,000
	人件費	3,500,000	3,474,685	668,916	3,500,000
	旅費・交通費	300,000	280,930	45,686	300,000
	通信費	600,000	592,745	2,409	600,000
	印刷費	300,000	282,554	16,121	300,000
	交際費	50,000	30,000	57,932	50,000
	事務費	100,000	70,944	30,397	70,000
	雑費	50,000	31,123	19,501	35,000
	福利厚生費	600,000	570,823	165,147	600,000
	新プロジェクト関係費	1,300,000	1,395,750	90,720	800,000
	創立150周年寄付金	0	0	0	500,000
	支出合計	12,250,000	11,070,526	3,719,114	12,205,000
	次年度繰越金	4,180,174	5,529,104	2,953,507	1,249,507
合計	16,430,174	16,599,630	6,672,621	13,454,507	

国際交流支援基金

	項目	2018年決算	2019年1～3月決算	2019年予算案
	前年度繰越金	3,614,767	2,475,065	2,475,065
支出	海外インターンシップ事業	1,139,702	0	1,200,000
	次年度繰越金	2,475,065	2,475,065	1,275,065



同志社大学経済学部 同経会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL: 075-251-3524 FAX: 075-251-3136
URL: www.dokeikai.com

2019年9月15日 発行
編集: 同経会 広報・編集委員会
発行人: 同経会会長 服部盛隆
印刷: ライティング株式会社